

大和高田市地域公共交通活性化協議会 議事録

① 議名	第12回大和高田市地域公共交通活性化協議会
② 催日時	平成29年3月27日(月) 10:00～
③開催場所	大和高田市役所4階 合同委員会室
④議題	(議事事項) (1) 「きぼう号」アンケート結果の報告について (2) 「きぼう号」運休日の見直しについて (3) その他
⑤出席委員	別紙
⑥事務局	市民部まちづくり振興室自治振興課 仲田課長・芳村係長

協議経過および協議内容	
(事務局)	<p>定刻となりましたので、ただ今から「第12回大和高田市地域公共交通活性化協議会」を開催いたします。</p> <p>お集まりの皆様におかれましては、ご多用の中、また遠いところお集まりいただき、厚くお礼申しあげます。</p> <p>また、委員様で人事異動等により交代が発生した方につきましては、時間の都合上、委嘱状を席に置かせていただいております。どうかご了承いただきますようお願いいたします。</p> <p>さて、昨年4月1日より大きく再編させていただきましたコミュニティバス「きぼう号」の運行からまもなく1年となり、新しい路線、ダイヤも乗客の方々にも徐々に定着してきている中、いろいろな課題や意見も出てきております。</p> <p>そこで、昨年11月と12月に「きぼう号」利用者及び無作為抽出した市民1,000名に対しアンケート調査を実施させていただきました。本日の協議会では、その結果報告を中心に委員の皆様からのご意見を頂戴できればと考えております。</p> <p>どうぞ、よろしく申し上げます。</p> <p>それではまず、本協議会会長の松田副市長によりご挨拶申しあげます。</p>
(会 長)	<p>各団体、又各機関から委員様の方々には、年度末のお忙しい中、本市の地域公共交通活性化協議会にご出席いただきありがとうございます。また今回異動等で新たに委員になられた方には改めてよろしくお願いを申し上げます。</p> <p>当協議会は今回で第12回ということになっておりますが、今資料を少</p>

協議経過および協議内容

し見ておりますと、第1回は平成23年11月に開催をさせていただいております。平成23年11月から中心として本市のコミュニティバス「きぼう号」の運行について皆さんに協議を重ねていただいているところでもあります。きぼう号は以前は2台で内回り・外回りで運行しておりました。それが第1回から第8回くらいまで、その中での最適化についてご協議をいただいてまいりました。2台でいかに効率的に有効に多くの市民の皆様に乗っていただけるか、という点でご協議していただけてきたわけでもあります。またそこにおいては、7つほどの大きな課題のクリアーを前提課題として、皆様のご意見を賜ってまいりました。その経緯の中で、平成27年6月に第9回目の協議会を開催してもらう折に、本市としましては、3台でさらに多くの地域へ回れる形でもって、この協議会に本市の案として出させていただき、8回までのいろんな協議を踏まえたうえでこの3台で市内を回る今日の、平成28年4月から回らせていただいておりますが、それを協議していただいて、先ほどの事務局の案内のとおり、平成28年4月1日から3台のきぼう号のバスで市内循環をさせていただいております。そして早くも1年、先般市議会の方にはきぼう号のアンケートの報告をさせていただいたところでもあります。引き続きまして、協議会でアンケートの報告及び最近の利用状況の特徴等をご報告申し上げまして、皆様方から今後の本市のきぼう号の発展に向けた貴重なご意見を賜りたいと思っておりますので、どうか本日の協議会よろしく願い申し上げまして挨拶にさせていただきます。よろしく願いいたします。

(事務局)

ありがとうございました。

委員及び出席者の紹介につきましては、配布しております委員名簿並びに出席者名簿により代えさせていただきます。

本協議会の委員様は19名いらっしゃいまして、本日は奈良県バス協会の山口様が欠席で、今回代理の方も含めまして18名の方に出席していただいております。よろしく願いいたします。

それでは、まず、議事に入ります前にお手元に配布しております資料の確認をお願いします。

- ・ 本日の次第
- ・ 協議会出席者名簿
- ・ 本協議会の規約
- ・ 第11回の議事録（前委員から交代されている方のために）
- ・ 資料1 大和高田市コミュニティバス「きぼう号」アンケート調査結果
- ・ 資料2-1 地域内フィーダー系統確保維持計画変更届書（案）
- ・ 資料2-2 地域内フィーダー系統確保計画認定申請書
- ・ 資料3 コミュニティバス「きぼう号」運行実績

協議経過および協議内容

	<p>それでは議事に入ります。</p> <p>協議会規約第9条第1項に基づき、会長であります松田副市长より「会議の運営等」における議長の指名することとなっております。会長よりしくをお願いします。</p>
(会 長)	<p>それでは、わたくしの方から僭越ではございますが、指名をさせていただきます。</p> <p>本市市民部長の吉岡部長を議長に指名いたします。</p> <p>吉岡議長、よろしくお願いいたします。</p>
(議 長)	<p>会長より議長の指名を受けました大和高田市市民部 吉岡でございます。どうか、審議が円滑に進みますようご協力よろしくお願いいたします。</p> <p>着座にて進行させていただきます。</p>
(事務局)	<p>それでは、議事（1）大和高田市コミュニティバス「きぼう号」アンケート調査結果について、事務局より説明願います。</p> <p>議事（1）について説明</p>
(議 長)	<p>ただ今、事務局より、大和高田市コミュニティバス「きぼう号」アンケート調査結果について、説明がございましたが、何かご意見ご質問等ございましたら、挙手でよろしくお願いいたします。</p> <p>はい、どうぞ。</p>
(委 員)	<p>タクシー協会でございます。こちら1番最後のアンケートを見ておきますと、市民の方もタクシーのような機動性のあるものを求められている気がします。あとは予算の関係ですが、乗車補助をやっているところもあり、それは人数によりけりですが、タクシー自体もデマンドタクシーをやられている近隣市町村もございます。デマンドタクシーは本来のタクシーの機能性や利点を活かせておりません。それを一度、大和高田市の市民の方は、タクシーはタクシーの利点を活かしたものを望んでおられるように思います。予算の関係もあるのですが、乗車補助のような形を大和高田市の地域公共交通の中に本来のタクシーの機能を盛り込んだような形のことを少し</p>

協議経過および協議内容	
(事務局)	<p>考えていただいております。</p> <p>議会でもデマンドという言葉がよく出ておりますが、大和高田市の場合、平地でして山間部ではございません。また平成8年からのだいぶ早い段階から公共バスを導入させていただいております。今回定期定路線でやるところでございますが、今のところは平成8年から19年かかって3路線6系統にするという大きな見直しをさせていただきました。ここをもう少し推していきたいと考えております。よろしく申し上げます。</p>
(議長)	<p>他に何かご意見等ございませんか？</p> <p>はい、どうぞ。</p>
(委員)	<p>奈良運輸支局の中井です。よろしく申し上げます。</p> <p>資料の8ページの中で、きぼう号を利用したことがある方で運転免許を持っている方が40%もいらっしゃいます。持っていて利用されるということは、良いところがあるからです。それでなぜ乗ってくれているのかという理由を把握したりとか、逆に運転免許を持っていて利用したことがない方にどうやったらきぼう号に乗っていただけるか、返納したのに乗っていないという方はなぜ乗っていないのかを把握したら、思うように施策に活かせるのではないかと思いますので、今後把握していただけたらなと思います。運輸局から以上です。</p>
(事務局)	<p>ありがとうございます。手前どももそのような形で実際に未利用者の方について分析をさせていただきます。まずは先ほど事務局からも申しましたように、PR不足の件も責任を感じておりまして、市民交流センターも4月24日からオープンしまして、市民の足としてきぼう号も4月1日からやっていくということで、町総代連合会の皆様をお願いして時刻表も配布させていただきました。ただそれだけで終わっておりまして、そういった形のPRをこれからしていきたいと考えております。</p>
(議長)	<p>他に何かございませんか？</p> <p>はい、どうぞ。</p>
(委員)	<p>今後の参考にしていただければと思いますが、アンケートの内容を見させ</p>

協議経過および協議内容

ていただいて、まず直感的に言いますと、アンケートの目的がちょっとあやふやだったのかなと感じられます。といいますのは、設問内容など見ていまして、潜在需要を掘り起こしていくためのアンケートなのか、顕在需要いわゆる今利用されている中でどうしていったらいいのかというところのどっちつかずのアンケートになってしまっているなと感じました。少し残念だったのが、問の14で、不満を感じることがありましたら、という設問があるのですが、利用者目線の設問になってしまって本来潜在需要を掘り起こしていくという意味での利用しないという人の設問までがなかったのが少し残念かなという風に思っております。そういった中で今後、顕在している今利用されている需要の中で、こういったことを考えているかという、例えば今使われていない方のことを考えるなら、基礎集計で終わってしまっているのもうちょっとクロス集計とかをかけられた方がいいんじゃないかなと思います。例えばぱっと見て面白いなと思ったのが、問3なんですけれども、きぼう号を利用したことがある方で一人暮らしの方が4分の1ということで、これはおそらく他の家族に送ってもらおうような手段がなくなってしまったような人がそういったコミュニティバスの利用をされているという姿がおそらく見えてくる、と。じゃあ例えば配偶者が運転をしてくれていたのだけれども、その配偶者すら高齢者になられて運転免許証を返納されたら、そういった方でも次は潜在需要と顕在需要として何年後かになるかもしれないのですが、そういった状況が来たときにはそういった方たちがまた新たな利用者になっていくと、そういった部分を5年10年という先過ぎるかもしれませんが、今回のアンケートを見ながらクロス集計をかけられたら、細部に確認できなかったところも何となくおぼろげながらもその状況も把握できるのではないかと思います。

あともう一点なんですけれども、最後問15で非常に良い質問だったという風に私は思いました。ただもう少し情報提供をしたうえで、市民のご意向を確認できるような設問にしたらよかったのかなと思います。5,300万という委託料を書かれているのですが、市民1人あたりがどれくらい負担しているのか、その額というのが他の行政と比べた時にこれくらいの規模である、と。こういった規模のお金を市民みなさんで負担していつて、なんとか公共交通というものを残していきたいんですけど、みなさんどう思われますか的な形で聞くと、もう少し情報提供したうえでの市民さんの考察であるとかそれを踏まえたなかでの公共交通に対する考え方が結果として反映されたものになるのではないのかなと思いました。このアンケート自体、面白い結果が出ていると思いますので、一集計に終わらず、クロスなりいろんな分析をかけられてさらに活用されていかれたらいいのに、という風に思っております。

私からは以上です。

協議経過および協議内容

<p>(議 長)</p>	<p>何か事務局からありますか？</p>
<p>(事務局・仲田)</p>	<p>ありがとうございます。そういった形でしっかりやらせていただきたいと思います。よりよい運行を目指していきたいと思います。</p>
<p>(議 長)</p>	<p>他に何かございますか？ はい、どうぞ。</p>
<p>(委 員)</p>	<p>奈良交通でございます。バスの話が出ましたけれども、このパンフレットに載っているこのバスが低いバスなんです。こちらはステップがあるので乗りにくいということでございます。路線バスとしては、このタイプのバスは20年経っておりますので今もうなくて、ご存知かとは思いますが、葛城市さんや広陵町さんがポンチョを昨年入れられまして、あれがポンチョというバスでして、ステップがないとかノンステップバスなんですけれども、1歩上がるだけで床へ行けるといったバスなんです。3台中2台がこのバスなんです。いよいよオイルを漏らしたり等いろいろご迷惑をおかけしたりすることも古くなったら仕方ないので、台替えをということで今高田市さんの方と検討を始めております。一番いいのはそのポンチョを入れることなんですけれども、実際に来月にポンチョを持っていきまして、おそらく狭い部分は市道が多いのかなと思いますので、道路の溝を蓋をしていただいたり、看板をどかしていただくことで、大体クリアできるのかなと思っておりますので、そこら辺の改良のご協力があれば、台替えができるのかなと考えております。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>ありがとうございます。実際に走らせていただいている奈良交通さんの意見でございます。平成8年にできたということで、やはり20年超えてきてますので、当然意識をしながらやっていかないと考えております。今後こういった形で、そういったことも踏まえてやっていきたいと思っております。継続という形で市民の方々にも望んでいただいておりますので、このままではなく車の方もある程度時期がくれば乗り換えをしなければいけませんので、こういった意見も取り入れていきたいと思っております。</p>
<p>(議 長)</p>	<p>他に何かございませんか。</p>

協議経過および協議内容

	<p>ないようですので、それでは続きまして、議事（２）「きぼう号」運休日の見直しについて、事務局より説明願います。</p>
(事務局)	<p>議事（２）について説明</p>
(議長)	<p>ただ今、事務局から説明がございましたように、これまで毎週月曜日が運休日でしたが、市民交流センターの開館日に合わせて、第１・第３月曜日以外の月曜日を運行するというところで、今提案がございました。これについてご意見・質問等ございましたら、よろしく願いいたします。 はい、会長。</p>
(会長)	<p>先ほど示した２８年６月のところで、これを見ていただいているというのは、細かい字の表２の３番目で、運行回数を引き算すると２５回というのは合わないと思うのですが。</p>
(委員)	<p>こちらは私たちの方に提出していただく書類ですので、事前に確認させていただいております。平成２９年度の表２の３については、年度が決まっております。２８年１０月から２９年の９月までとなっております。４月１日から変更になりますので、１年間の変更であると、残っている４月１日以降の日数になりますので、次のページの３０年度と日数が違って当たり前となっております。</p>
(事務局)	<p>すいません。一応フィーダー補助というのが、１０月９月で切るので、今回変更するのが４月３月の分で計算すると２５日間の差が出るというような形になっております。補助の申請の様式と今申し上げた２５日の考えの期間が少しくずれておりましたので、説明不足で申し訳ないです。</p>
(会長)	<p>それと補足的にもう１点。これで新年度２５日増えますよね。第１・第３を除く月曜日を運行する、と。前回の協議会から早速先般の年末年始の話について、委員さんには特に報告させてもらっていないと思うのですが、それを今報告してもらってもよろしいですか。</p>
(事務局)	<p>はい。６月のフィーダー補助の時に説明をさせていただきました。</p>

協議経過および協議内容

<p>(会 長)</p>	<p>それでは、段階を踏んで、当初から先般の年末年始にまず少し増便をし、それで新年度からはこうなるというのをもう1回説明してもらえますか？ というのは、1年前の4月1日から運行してますと、その時は何回で運行して、その年の年末年始にかけて何回増やしましたと、そして今回4月1日から抜本的に第1・第3を除く月曜日をこうして運行しますということをこういう機会ですから総括的に説明させていただけたらと思うのですが。</p>
<p>(議 長)</p>	<p>よろしく願いできますか？</p>
<p>(事務局)</p>	<p>はい。当初昨年4月1日から再編し、年間日数が309日（4月～翌3月）として計画をあげさせていただいておりました。6月のフィーダー補助を申請する際に年末年始を10日間（12月27日～1月5日）運休しておりましたが、その期間の5日間運休日を減らし、年間運行計画を314日にさせていただきまして、年末が12月30日から1月3日までの5日間だけを運休させてもらうような形に変更させていただきました。この度、4月1日以降のところについてプラス25日ですね、第1・第3を除く月曜日を運行するというので、年間運行計画日数を339日に変更させていただいております。</p>
<p>(議 長)</p>	<p>会長よろしいですか？ ほかに何かご意見等ございませんか？</p> <p>ただ今事務局の説明でございました、この「地域内フィーダー系統確保維持計画変更届出書（案）」に関しましては、皆様のご了承をいただく必要がございます。今事務局が申しあげました案で国に提出させていただいてよろしいでしょうか？ご承認いただけますか？</p> <p>(異議なし の声)</p> <p>それではご承認いただいたということで、事務局、処理の方よろしく願いします。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>ありがとうございます。</p>

協議経過および協議内容

<p>(議 長)</p>	<p>それでは、次に議事（３）その他 について、事務局よろしく願いいたします。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>議事（３）について説明。</p>
<p>(議 長)</p>	<p>ただ今、運行実績、アンケート結果のホームページ公開、また時刻表の広報誌の挟み込みについての説明がございましたけれども、アンケート結果のホームページ公開及び広報誌の挟み込みは予定としてはいつ頃ですか？</p>
<p>(事務局)</p>	<p>はい。広報誌については既に承認していただきましたので、できるだけ早くもう４月にでも配布させていただこうと考えております。ホームページにつきましても、早い段階で出したいのですが、先ほど取りまとめについていろいろご意見出ておりましたので、委員様に早急に改良したものを取りまとめて送付させていただきますので、ご返事いただいてから早急にホームページにアップしていきたいと考えております。</p>
<p>(議 長)</p>	<p>ただ今、事務局が申しましたアンケート結果のホームページ公開で市民の目にふれます。これについてまたご意見等ございましたら、時刻表の広報誌の挟み込みもそうですが、先ほど川村委員をはじめ貴重な意見をいただきました。また事務局だけでは物足りない部分が出てくるかと思いますので、その辺市民によりわかりやすいホームページ、時刻表の広報誌と作っていきたいということですので、よろしくご協力のほどお願いいたします。</p> <p>現時点でご意見等ございましたら、よろしく願いいたします。 はい、どうぞ。</p>
<p>(委 員)</p>	<p>この機会なので、県の２９年度の新たな事業について、説明もかねて情報提供をしたいと思います。</p> <p>先週の金曜日にやっと県の議会も閉会いたしまして、やっとおおっぴらにこういった場で２９年度の新規事業について説明できることになったという状況です。</p> <p>今の事務局さんの方から話もありましたように、利用者へのPRまた待合環境の向上という点に絡んだ話で行きますと、２９年度からバスロケシ</p>

協議経過および協議内容

ョンシステムというのはご存知ですかね？あまり奈良県の方はバスロケーションシステムといってもなかなかイメージしてもらいにくいのですが、バスにGPSの機械を積みまして、リアルタイムでそのバスはどこを走っているのかというのが利用者に対して、バス停であるとかスマホとかで提供できるというそういったシステムの導入支援を29年度から推し進めていくことになっております。奈良交通さんの路線バスを対象に東京オリンピック・パラリンピックが開催されます平成32年までに29・30・31年の3箇年で奈良県内の路線バス全域にこのバスロケーションシステムの導入を、これは奈良交通さんが事業主体としてされることですので、県からは補助という形で奈良交通さんから協力いただく案件になります。なので、利用環境の向上を計画しております。そういったバスロケーションシステムというのは、路線バスだけではなく、コミュニティバスにもそういった普及が必要であると考えております。コミュニティバスのバスロケーションシステムの支援は従来から県の補助事業で「安心して暮らせる地域公共交通確保事業」というものがございます。これに関しましては、補助率が2分の1で補助支援をさせていただいておりますので、先ほど事務局さんから説明のありました、そういった施設に時刻表だけでなくバスロケーションシステムのディスプレイなんかもあったりしたら、バスが遅れているような時でも、バスロケで「あ、今来たな」と見ていただいてから、バス停に行っていただけという、そういった意味での待合環境の向上というのが図られるのではないかなと思っております。ですので、またそういった部分で移動環境の向上、なおかつさらなるPRということで、そういった制度もご活用していただければと思っております。県からは以上です。

(議長)

ありがとうございます。他に何かございますか？
ないようでしたら、本日は皆様ありがとうございます。
それでは、本日提案いたしました全議案につきまして、ご承認いただき、円滑な議事運営にもご協力、誠にありがとうございました。
最後に事務局から連絡事項等ございましたら。

(事務局)

はい。それでは議事(1)のきぼう号のアンケート調査結果でもいろいろな意見が出てきましたが、ご説明させていただきましたが、よりよいバスの運行を行うため、先ほども申しましたように、本日出ていないような意見、ホームページ掲載にあたってもう少しこうした方がいいんじゃないかというようなご意見がありましたら、こちらから案内を送らせていただいたあとにまた個別にでもご意見いただければと思っております。次回第13回の活性化協議会を6月のフィーター補助の申請前に予定をしております。

協議経過および協議内容	
	<p>すが、その時までに大きな議題がない場合は書面決議という形で会議を開かず、郵送でこの内容でフィーダー補助の申請よろしいですかということの決議だけでさせていただくことがある可能性があるということで申し添えさせていただきます。</p>
(委 員)	<p>会計検査院からそれは対面でせよという指導をいただいておりますので、極力開いていただきたいです。</p> <p>あと合わせて先ほどの車両の件で、タイミングが合えば、車両に対する補助もできますので、ご検討いただきたいと思います。</p>
(事務局)	<p>わかりました。ありがとうございます。</p>
(議 長)	<p>議事は終了いたしました。他に何かご意見等ございましたらよろしくお願いいいたします。</p> <p>ないようでしたら、これを持ちまして、「第12回大和高田市地域公共交通活性化協議会」を終了させていただきます。</p> <p>本日は、ご苦勞様でした。</p>